# 2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月９日

上 場 会 社 名　　東邦化学工業株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　4409　　URL　https://toho-chem.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　中崎　龍雄
問合せ先責任者　（役職名）　常務取締役経理本部長（氏名）　川崎　正一　　(TEL) 03-5550-3735
半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

## １．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

### （１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 30,163 | 16.0 | 1,790 | 101.0 | 1,566 | 106.6 | 1,459 | 179.1 |
| 2026年３月期中間期 | 26,003 | △2.4 | 890 | △0.2 | 758 | △14.2 | 522 | △39.0 |

（注）包括利益　2027年３月期中間期　2,185百万円（ 457.5%）　2026年３月期中間期　392百万円（△75.2%）

| | １株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後１株当たり中間純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年３月期中間期 | 69.41 | ― |
| 2026年３月期中間期 | 24.87 | ― |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 75,417 | 25,842 | 34.1 |
| 2026年３月期 | 70,824 | 24,119 | 33.9 |

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　25,747百万円　　2026年３月期　24,031百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年３月期 | ― | 0.00 | ― | 22.00 | 22.00 |
| 2027年３月期 | ― | 0.00 | | | |
| 2027年３月期(予想) | | | ― | 27.00 | 27.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有

配当予想の修正については、本日（2026年11月９日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

## ３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 61,000 | 13.8 | 2,900 | 38.9 | 2,350 | 21.7 | 2,100 | 37.5 | 99.87 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2027年３月期中間期 | 21,350,000株 | 2026年３月期 | 21,350,000株 |
| ②　期末自己株式数 | 2027年３月期中間期 | 322,015株 | 2026年３月期 | 322,015株 |
| ③　期中平均株式数（中間期） | 2027年３月期中間期 | 21,027,985株 | 2026年３月期中間期 | 21,027,985株 |

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．４「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はＴＤｎｅｔで同日開示しております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報） …… 10

# １．経営成績等の概況

## （１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調が継続しました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴う資源価格の高騰や物価・人件費の上昇が企業活動に影響を与えております。また、物価上昇による消費者マインドの冷え込み、金利の上昇、為替相場の変動など、景気の下振れリスクも存在し、先行き不透明な状況が続いております。

化学業界におきましては、半導体市況の改善を背景に、半導体市場向け製品の需要は堅調に推移しております。一方、石油化学製品を中心に、中国の内需を上回る生産とそれに伴う輸出拡大の影響が続いております。また、中東情勢の緊迫化を背景とした原材料価格の急騰や原材料調達リスクへの対応が喫緊の課題となりました。

このような経営環境下、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は、原材料価格の上昇に対応し価格転嫁を進めたことによる売価の上昇や、電子情報産業用の微細加工用樹脂の販売増加等により、前年同期比4,159百万円、16.0％増収の30,163百万円となりました。

損益面につきましては、増収による収益効果に加え、第１四半期に価格転嫁を迅速に進めたことや第２四半期に原材料価格がやや下がったことによって売上高総利益率も前年同期比やや改善し、営業利益は前年同期比900百万円増益の1,790百万円となりました。経常利益は前年同期比808百万円増益の1,566百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、特別利益に投資有価証券売却益588百万円を計上したこともあり、前年同期比936百万円増益の1,459百万円となり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益のいずれも中間期の過去最高益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

（界面活性剤）

香粧原料は、一般洗浄剤の大口ユーザー向け販売がやや回復したことやヘアケア用基剤の販売増加により増収となりました。プラスチック用添加剤は、帯電防止剤の販売増加等により増収となりました。土木建築用薬剤は、海外向けの販売数量が減少したものの、国内向けの販売がやや回復したことや製品売価の上昇により増収となりました。農薬助剤は、海外向けの販売数量が減少したものの、国内向けの販売伸長および製品売価の上昇により増収となりました。繊維助剤は、海外向けを中心に販売が増加し増収となりました。紙パルプ用薬剤は、サイズ剤や脱墨剤等の販売数量が減少したものの、製品売価の上昇により増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比1,632百万円、12.9％増収の14,263百万円となり、セグメント利益は、前年同期比346百万円増益の709百万円となりました。

（樹脂）

石油樹脂は、道路舗装関連等の販売が伸長し増収となりました。合成樹脂は、トナーインキ用等で販売数量は減少したものの、製品売価の上昇により増収となりました。樹脂エマルションは、塗料用等の販売が伸長し増収となりました。アクリレートは、国内外ともに販売数量は減少したものの、製品売価の上昇により増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比283百万円、13.0％増収の2,457百万円となり、セグメント利益は、160百万円（前年同期は3百万円の損失）となりました。

（化成品）

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、国内外ともに販売数量は減少したものの、製品売価の上昇により増収となりました。石油添加剤は、国内外ともに販売が回復し増収となりました。金属加工油剤は、切削油剤等の販売が伸長し増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比601百万円、18.9％増収の3,783百万円となり、セグメント利益は、前年同期比180百万円増益の272百万円となりました。

（スペシャリティーケミカル）

溶剤は、ブレーキ液基剤等で販売数量は減少したものの、製品売価の上昇により増収となりました。電子情報産業用の微細加工用樹脂は、販売が計画どおり伸長し増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比1,712百万円、21.7%増収の9,588百万円となりました。セグメント利益は、前年同期比251百万円増益の607百万円となりました。

なお、上記の各セグメント利益又は損失の前年同期比の数値は、後記Ｐ．10（セグメント情報）「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報」の表における「報告セグメント」の比較情報です。

その他に、各セグメントに帰属しない調整額(棚卸資産の調整額等)が32百万円(前年同期は70百万円)あります。

## （２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、75,417百万円と前期末比4,593百万円の増加となりました。その内訳は、流動資産が3,572百万円増加の39,463百万円、固定資産が1,020百万円増加の35,953百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が633百万円の増加、受取手形及び売掛金が499百万円の増加、電子記録債権が464百万円の増加、棚卸資産が1,856百万円の増加、前払費用の増加を主因とするその他（流動資産）が118百万円の増加です。

固定資産の主な増減要因は、有形固定資産が1,000百万円の増加です。

負債合計は49,575百万円と前期末比2,870百万円の増加となりました。主な増減要因は、買掛金が2,023百万円の増加、電子記録債務が272百万円の増加、１年内償還予定の社債が300百万円の増加、短期借入金が255百万円の増加、未払法人税等が416百万円の増加、設備関係電子記録債務の増加を主因とするその他（流動負債）が421百万円の増加、社債が300百万円の減少、長期借入金が448百万円の減少、リース債務の減少を主因とするその他（固定負債）が108百万円の減少です。

純資産は、25,842百万円と前期末比1,723百万円の増加となりました。主な増減要因は、利益剰余金が、配当金の支払いと親会社株主に帰属する中間純利益との差額により996百万円の増加、その他の包括利益累計額が718百万円の増加です。

その結果、自己資本比率は34.1%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は5,781百万円となり、前連結会計年度末と比較して633百万円の増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは2,338百万円の収入（前年同期比32百万円の収入増）となりました。収入の主な要因は、税金等調整前中間純利益2,119百万円、減価償却費1,489百万円、仕入債務の増加額2,146百万円等であり、支出の主な要因は、投資有価証券売却益588百万円、売上債権の増加額726百万円、棚卸資産の増加額1,712百万円、未払消費税等の減少を主因とするその他181百万円、法人税等の支払額251百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは922百万円の支出（前年同期比744百万円の支出減）となりました。収入の主な要因は、投資有価証券の売却による収入649百万円等であり、支出の主な要因は、有形固定資産の取得による支出1,461百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは882百万円の支出（前年同期比416百万円の支出増）となりました。支出の主な要因は、長期借入金の純減額325百万円、リース債務の返済による支出131百万円、配当金の支払額462百万円等であります。

### （３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、売上高は、下期の原材料価格が前回予想時よりも高くなる見通しであり、それに伴い製品売価も前回予想時より高くなる見通しであることから、前回予想を上回る見通しです。

利益面につきましては、下期は増収による収益効果が期待される一方で原材料価格の再上昇や用役費の上昇による利益率へのマイナス影響が懸念されますが、上期の実績が前回予想を上回ったことに伴い、通期予想も前回予想を上回る見通しです。

その結果、2026年８月５日の「2027年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表いたしました2027年３月期の通期連結業績予想を修正しております。

## ２．中間連結財務諸表及び主な注記

### （１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>(2026年３月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,344 | 5,977 |
| 受取手形及び売掛金 | 11,686 | 12,185 |
| 電子記録債権 | 1,478 | 1,942 |
| 棚卸資産 | 16,464 | 18,321 |
| その他 | 919 | 1,037 |
| 貸倒引当金 | △1 | △1 |
| 流動資産合計 | 35,891 | 39,463 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 13,442 | 14,124 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 4,616 | 7,330 |
| 土地 | 3,145 | 3,145 |
| 建設仮勘定 | 3,288 | 963 |
| その他（純額） | 2,063 | 1,992 |
| 有形固定資産合計 | 26,556 | 27,557 |
| 無形固定資産 | 1,066 | 1,126 |
| 投資その他の資産 | 7,310 | 7,269 |
| 固定資産合計 | 34,933 | 35,953 |
| 資産合計 | 70,824 | 75,417 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>(2026年３月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 5,646 | 7,670 |
| 電子記録債務 | 2,478 | 2,750 |
| 短期借入金 | 10,913 | 11,169 |
| １年内償還予定の社債 | － | 300 |
| 未払法人税等 | 266 | 683 |
| 契約負債 | 4 | 22 |
| 賞与引当金 | 648 | 621 |
| その他 | 3,431 | 3,853 |
| 流動負債合計 | 23,390 | 27,070 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 900 | 600 |
| 長期借入金 | 15,257 | 14,809 |
| 退職給付に係る負債 | 5,816 | 5,862 |
| 資産除去債務 | 79 | 80 |
| その他 | 1,261 | 1,152 |
| 固定負債合計 | 23,314 | 22,504 |
| 負債合計 | 46,704 | 49,575 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,755 | 1,755 |
| 資本剰余金 | 896 | 896 |
| 利益剰余金 | 14,496 | 15,493 |
| 自己株式 | △163 | △163 |
| 株主資本合計 | 16,984 | 17,981 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,626 | 3,610 |
| 為替換算調整勘定 | 3,250 | 3,983 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 169 | 171 |
| その他の包括利益累計額合計 | 7,046 | 7,765 |
| 非支配株主持分 | 87 | 95 |
| 純資産合計 | 24,119 | 25,842 |
| 負債純資産合計 | 70,824 | 75,417 |

## （２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

### 中間連結損益計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 26,003 | 30,163 |
| 売上原価 | 21,901 | 25,067 |
| 売上総利益 | 4,102 | 5,095 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,211 | 3,304 |
| 営業利益 | 890 | 1,790 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 8 |
| 受取配当金 | 73 | 88 |
| 為替差益 | 0 | － |
| 物品売却益 | 30 | 27 |
| その他 | 12 | 17 |
| 営業外収益合計 | 121 | 142 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 208 | 264 |
| 為替差損 | － | 34 |
| その他 | 45 | 68 |
| 営業外費用合計 | 253 | 366 |
| 経常利益 | 758 | 1,566 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | － | 0 |
| 投資有価証券売却益 | 12 | 588 |
| 特別利益合計 | 12 | 588 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産廃棄損 | 48 | 35 |
| 特別損失合計 | 48 | 35 |
| 税金等調整前中間純利益 | 721 | 2,119 |
| 法人税等 | 198 | 658 |
| 中間純利益 | 523 | 1,461 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | 0 | 1 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 522 | 1,459 |

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 中間純利益 | 523 | 1,461 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 596 | △16 |
| 為替換算調整勘定 | △727 | 738 |
| 退職給付に係る調整額 | 0 | 2 |
| その他の包括利益合計 | △130 | 724 |
| 中間包括利益 | 392 | 2,185 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 398 | 2,178 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | △6 | 7 |

## （３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 721 | 2,119 |
| 減価償却費 | 1,378 | 1,489 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | 0 | 0 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △42 | △31 |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | △47 | 44 |
| 受取利息及び受取配当金 | △77 | △96 |
| 支払利息 | 208 | 264 |
| 為替差損益（△は益） | 3 | 4 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | △12 | △588 |
| 固定資産売却損益（△は益） | － | △0 |
| 固定資産廃棄損 | 48 | 35 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △166 | △726 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | 718 | △1,712 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 242 | 2,146 |
| その他 | △133 | △181 |
| 小計 | 2,841 | 2,767 |
| 利息及び配当金の受取額 | 77 | 96 |
| 利息の支払額 | △205 | △275 |
| 法人税等の支払額又は還付額（△は支払） | △407 | △251 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,305 | 2,338 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,587 | △1,461 |
| 有形固定資産の売却による収入 | － | 0 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △81 | △90 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △0 | △0 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 21 | 649 |
| その他 | △18 | △20 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,667 | △922 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | 364 | 37 |
| 長期借入れによる収入 | 2,475 | 2,655 |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,746 | △2,980 |
| リース債務の返済による支出 | △139 | △131 |
| 配当金の支払額 | △420 | △462 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △466 | △882 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △149 | 100 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 22 | 633 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,704 | 5,148 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 5,726 | 5,781 |

## （４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | その他（注）１ | 合計 | 調整額（注）２ | 中間連結損益計算書計上額（注）３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 界面活性剤 | 樹脂 | 化成品 | スペシャリティーケミカル | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 日本 | 10,653 | 1,691 | 1,693 | 7,681 | 21,720 | 45 | 21,765 | － | 21,765 |
| アジア | 1,688 | 482 | 1,077 | 150 | 3,398 | 92 | 3,490 | － | 3,490 |
| その他 | 288 | 0 | 411 | 44 | 745 | 1 | 747 | － | 747 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 12,631 | 2,173 | 3,182 | 7,876 | 25,863 | 139 | 26,003 | － | 26,003 |
| 外部顧客への売上高 | 12,631 | 2,173 | 3,182 | 7,876 | 25,863 | 139 | 26,003 | － | 26,003 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － | 60 | 60 | △60 | － |
| 計 | 12,631 | 2,173 | 3,182 | 7,876 | 25,863 | 200 | 26,064 | △60 | 26,003 |
| セグメント利益又は損失（△） | 362 | △3 | 91 | 356 | 807 | 13 | 820 | 70 | 890 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析業務等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額70百万円には、棚卸資産の調整額45百万円等が含まれております。

３．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | その他(注)１ | 合計 | 調整額(注)２ | 中間連結損益計算書計上額(注)３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 界面活性剤 | 樹脂 | 化成品 | スペシャリティーケミカル | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 日本 | 11,913 | 1,887 | 1,892 | 9,433 | 25,127 | 60 | 25,187 | － | 25,187 |
| アジア | 2,042 | 566 | 1,294 | 104 | 4,007 | 8 | 4,015 | － | 4,015 |
| その他 | 307 | 3 | 597 | 51 | 959 | 1 | 960 | － | 960 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 14,263 | 2,457 | 3,783 | 9,588 | 30,093 | 70 | 30,163 | － | 30,163 |
| 外部顧客への売上高 | 14,263 | 2,457 | 3,783 | 9,588 | 30,093 | 70 | 30,163 | － | 30,163 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － | 58 | 58 | △58 | － |
| 計 | 14,263 | 2,457 | 3,783 | 9,588 | 30,093 | 128 | 30,221 | △58 | 30,163 |
| セグメント利益 | 709 | 160 | 272 | 607 | 1,750 | 8 | 1,758 | 32 | 1,790 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析業務等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額32百万円には、棚卸資産の調整額33百万円等が含まれております。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。